



アマチュアオーケストラ

# 新交響楽団第240回演奏会

The New Symphony Orchestra – 240th Concert

指揮 矢崎 彦太郎

YAZAKI Hikotaro, conductor

## FRANCK フランク

### 交響曲二短調

César FRANCK (1822-1890) : Symphony in d minor, Op. 48, 1888

## RESPIGHI レスピーギ

### 交響詩「ローマの噴水」

Ottorino RESPIGHI (1879-1936) : Fountains of Rome, Symphonic Poem, 1916

### 交響詩「ローマの祭り」

Ottorino RESPIGHI (1879-1936) : Roman Festivals, Symphonic Poem, 1928

Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

**2018年1月28日 (日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演**

Sunday, January 28, 2018, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

**入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,500 B席: ¥1,500 (全席指定)**

88ペアチケット (お二人様で合計 88歳以上のお客様は合計金額から 1,000円を割引させていただきます。下記コンサートイメージのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ: コンサートイメージ 03(3235)3777 \*10:00 ~ 18:00 (日曜・祝日を除く)

チケットのお申し込み: チケットぴあ: 0570(02)9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス: 0570(010)296 \*10:00 ~ 19:00 (休館日を除く)

(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www.geigeki/i/t/> \*0570で始まる電話番号は一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

\*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

\*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください (予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyo.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。



## 矢崎彦太郎＝新交響楽団6回目の共演

パリを拠点に活躍し、そのタクトから色彩豊かな音が溢れる矢崎彦太郎を指揮に迎え、フランスの代表的作曲家フランクの交響曲と、同じラテンのイタリアの代表的作曲家レスピーギの「ローマ三部作」のうち2曲を演奏します。

### 近代フランス音楽の父－フランク

フランスの交響曲といえば、ベルリオーズの「幻想交響曲」が有名ですが、それと並んで代表する作品はフランクの交響曲ニ短調でしょう。

フランクは、1822年にネーデルラント連合王国（のちにベルギー）のリエージュで生まれました。父親は息子をリストのようなピアニストにしたかったため、ヴァイオリンを弾く弟とともに1835年に一家でパリに移住し、その後帰化してパリ音楽院に学びます。今では作曲家として知られるリストですが、当時は女性ファンがコンサートで失神するようなアイドル的存在でした。富と名誉を夢見た父親は、息子らの出演する商業的な演奏会を行いました。フランクは結婚を機に父親から逃れ、教会オルガニストとして堅実な道を歩みました。

オルガニストとして、また作曲家としても名声を得るようになり、1872年にパリ音楽院教授の候補となりますが、帰化したはずが21歳までの期限付きだったため、実はベルギー国籍であったことが判明。再度帰化申請をして、フランス人としてパリ音楽院に任用されました。弟子にはダンディやショーソンなどがおり、人間性や芸術性から大変慕われていました。

交響曲ニ短調は、晩年の1888年に作曲されました。フランクはバッハやワーグナーを研究し、また敬虔なカトリック教徒でしたので、精神的な内面を深く表現した作品となっています。オルガニックな重厚な響きを持つこの曲は、ともすると「フランス的ではない」と評されることもありますが、人生のほとんどをパリで過ごしたフランクの作品にはそのエスプリが宿っていると言えるでしょう。

### イタリアのオーケストラの魔術師－レスピーギ

「近代イタリアの交響曲」といっても、あまり思い浮かばないのではないのでしょうか。ヴェルディやプッチーニなどに代表されるオペラが隆盛をきわめていた当時のイタリアに現れた管弦楽曲作曲家がレスピーギでした。

レスピーギは、1879年にボローニャで生まれました。ロシア帝国劇場管弦楽団の首席ヴィオラ奏者としてサンクトペテルブルクに赴任した際に、リムスキー＝コルサコフの指導を受けています。1913年にサンタ・チェチーリア音楽院作曲科の教授としてローマに移住し、亡くなるまで過ごしました。

ローマ三部作は「交響詩」と名付けられてはいますが、それぞれ古典的な交響曲にみられるような4楽章構成となっており、「ローマの噴水」はローマにある有名な噴水を4つ、「ローマの祭り」はローマで行われる4つの祭りを題材として、非常に華やかなオーケストレーションで描かれています。

どうぞお楽しみに！（H.O.）

## 今後の演奏会予定

<第241回演奏会>

2018年4月22日（日）14時 東京芸術劇場

指揮 寺岡 清高

曲目 シューベルト/交響曲第8(9)番「ザ・グレート」他

<第242回演奏会>

2018年8月4日（土）18時 東京芸術劇場

指揮 山下一史

<第243回演奏会>

2018年10月8日（月祝）14時 東京芸術劇場

指揮 飯守 泰次郎

## 新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・芥川也寸志（1925-89）の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展（1976年にサントリー音楽賞を受賞）、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ（山田一雄指揮、1979～90）、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏（石井眞木指揮、1993）、伊福部昭米寿記念演奏会（2002）、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演（高関健指揮、2004）、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演（飯守泰次郎指揮、2006）など、幅広い活動を積極的に展開しています。

## 維持会のご案内 ～良いお席を安く～

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券（どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能）を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座：00130-0-28074「新交響楽団維持会」

## 団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail：shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時～9時、東京芸術劇場（池袋）、クラシック・スペース☆100（大久保）他にて。

## 演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、施設内の託児室をご利用いただけます。土日祝日を除く公演日一週間前までにご予約ください。～1歳2,560円、2歳～6歳児2,160円。お申込み・お問合せ：長谷川キャリアサポート株式会社わらべうたBS課 電話 0120-415-306（平日9:00～17:00、土日祝日休み）